



小さな拠点づくり Creating a small base

私たちの町をご紹介



海と山に面した地区で 花いっぱいのまちづくり

江津市の中心部に位置する嘉久志地区は13の自治区から構成されており、石州赤瓦の町並みが海と山を背景に美しく広がります。

地区の南側には江津市中央公園があり、体育館や野球場、プールやテニスコートなど、充実した運動施設が整備されています。公園からは日本海の美しい風景を眺めることもでき、憩いの場としても親しまれています。

地区では花いっぱいの町づくりに取り組んでおり、夏にはひまわり、冬には葉ボタンなど季節の植物が町を彩ります。また、ラベンダーセイジを地区の花として、中央公園入り口付近を飾っています。

地区内の名所としては、スサノオノミコトの姫、ムナスキヒメの伝説が残る「かくれ岩」があり、嘉久志の地名の由来となったと言われています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

江津市

私たちの アイデア

11

まちのひとの声



「脳活笑学校」は、本当 に面白くて行くのが楽 しいです。新しい友だち もできて交流の輪が広 がり、一緒に出かけたり するようになりました。



これまでの地域内での活動を継続し ていきたいです。また、近年コロナ禍 で交流事業がストップしていますが、 2016年に姉妹縁組をした隠岐郡海 士町や新宿の日本語学校など、地域 住民のご縁からできた繋がりを活か せるようにしていきたいです。地域外 との交流が再開できた時には、さら に他の地域へとつながれるように、 交流事業を拡大していきたいと思い ます。

地区の高齢者の認知症予防の対策とし て、2016年から「嘉久志町立 脳活笑学 校」を実施しています。在学中は週1回、 交流センターで歌や運動、脳活の問題に 取り組み、自宅での宿題も出されます。認 知症予防だけでなく外出の楽しみもあ り、交流や健康の確認の場にもなってい ます。また、住民を対象に「認知症サポー ター講座」を開き、これまで460名以上 がサポーターとなりました。地域一丸と なって認知症対策に取り組んでいます。

2014年に公民館がコミュニティ交流セ ンターとなったことをきっかけに、自由な 発想で活動できる組織として「嘉久志ま ちづくり推進協議会」が発足しました。こ れまでの部会を残しつつ、新たに事業 部、環境防災部、自治振興部を加えて 2018年より本格的に始動。「誰もが安 心して快適に暮らせる活力」と「個性豊か な地域づくり」を基本理念とし、様々な地 域活動を展開しながら、魅力と活力に満 ちた町づくりを目指しています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

江津市

私たちの アイデア

11

災害に備える 自分を守る防災意識



これまでの地域内での活動を継続し ていきたいです。また、近年コロナ禍 で交流事業がストップしていますが、 2016年に姉妹縁組をした隠岐郡海 士町や新宿の日本語学校など、地域 住民のご縁からできた繋がりを活か せるようにしていきたいです。地域外 との交流が再開できた時には、さら に他の地域へとつながれるように、 交流事業を拡大していきたいと思い ます。

自然災害などに対し、いざという時に 自分達の命を自分達で守る意識を 持って、防災活動に取り組んでいま す。住民や介護施設の方を対象に避 難訓練を実施し、あらゆる事態を想 定して、防災用品を備蓄するなど万 が一に備えています。今後もアン ケートなどで各家庭の防災意識の現 状を把握し、防災に対する意識を高 め、自助できる環境づくりを進めてい きます。

2014年に公民館がコミュニティ交流セ ンターとなったことをきっかけに、自由な 発想で活動できる組織として「嘉久志ま ちづくり推進協議会」が発足しました。こ れまでの部会を残しつつ、新たに事業 部、環境防災部、自治振興部を加えて 2018年より本格的に始動。「誰もが安 心して快適に暮らせる活力」と「個性豊か な地域づくり」を基本理念とし、様々な地 域活動を展開しながら、魅力と活力に満 ちた町づくりを目指しています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。